

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 03	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農政部園芸畜産課	
事業名	果樹農業振興戦略推進事業				内 線	3092	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H23 ~ H25	根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、農畜産業振興事業補助金交付要綱				
実施方法	補助金・委託（長野県原種センター、長野県園芸作物生産振興協議会、果樹種苗業者、農業協同組合、農業関係団体）					国庫・県単	県単独事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	本県果樹産業は、園地の老朽化・廃園による生産構造の脆弱化、不安定な果実価格情勢などにより厳しい状況にある中で、「果樹農業振興戦略」や「長野県果樹農業振興計画」を具現化し、強い競争力を持った果樹産地の再構築を図る。					
	対 象	果樹栽培農家					
	目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県オリジナル品種シナノゴールドの長期出荷体制の構築</li> <li>・年間約100haをりんご新しい化栽培に改植するため、りんごフェザー苗を毎年20万本供給できる体制の構築</li> <li>・生産性の高い果樹産地への構造改革</li> <li>・担い手への樹園地の円滑な継承による果樹産地の維持</li> </ul>					
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県園芸作物生産振興協議会への委託による県オリジナル品種りんご「シナノゴールド」の長期出荷体制構築に向けた検討、品質調査、実需者等の求評等</li> <li>・長野県原種センターが行うりんごフェザー苗予約生産方式構築事務の補助(定額)、長野県園芸作物生産振興協議会への委託によるりんごフェザー苗生産技術指導、果樹種苗業者への委託によるりんごフェザー苗の増産及び調査(H21～のりんごフェザー苗供給体制構築事業を当事業に統合)</li> <li>・果樹重点産地の「A」に委託し県オリジナル品種への改植、りんご新しい化栽培等の推進</li> <li>・(財)長野県農業開発公社への委託による果樹経営意向調査の実施、「A」等への委託による果樹経営意向調査に基づく樹園地継承モデル組織の育成</li> </ul>					

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・委託料:29,788千円(委託先:長野県園芸作物生産振興協議会、果樹種苗業者、農業協同組合、農業関係団体) ・補助金:1,086千円(事業主体:長野県原種センター)
	最終予算額 (A)		千円		33,041	1,640	
	決 算 額 (B)		千円		30,874		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円		1,884	1,640	
	概 算 人件費	従事する職員数	人		0.90	0.30	
		概算人件費 (C)	千円		7,432	2,477	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円		38,306	4,117	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・実需者からの求評、消費者アンケートの実施 ・フェザー苗生産技術研修会、巡回指導、栽培反省会等の開催  (効果指標 算出式) 概算事業費 / フェザー苗生産本数
	検討会の開催(活)	回		3	3	
	フェザー苗生産本数(成)	本		5,188	17,180	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> フェザー苗生産本数	円/本		1,433	240	

  

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3産地の果実について貯蔵前後の品質調査</li> <li>・フェザー苗生産本数7,000本</li> <li>・果樹重点産地4産地</li> <li>・経営意向調査産地8「A」</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・3産地の果実品質調査を行い産地別貯蔵果実の品質を把握した。</li> <li>・フェザー苗生産本数5,188本</li> <li>・果樹重点産地3産地で県オリジナル品種等への改植を推進した。</li> <li>・経営意向調査産地8「A」</li> </ul>			b 期待どおり

  

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実需者からは、シナノゴールドの長期出荷が求められている。</li> <li>・果樹農家からのりんごフェザー苗の要望は更に増加している。</li> <li>・樹園地の円滑な継承による果樹産地の維持が求められており、現行計画に沿った県関与が必要である。</li> </ul>
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	シナノゴールドの長期出荷体制構築、りんごフェザー苗供給体制構築については、ニーズが増加していることから平成25年度まで事業を実施していく。					
	特記事項						